

第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

〈ふくしま駅伝〉チームメンバー

- 監督 佐藤 彰洋(消防飯館分署)
- 主将 細杉 睦輝(ハイン)
- 1区 遠藤 志織(飯館村教育委員会)
- 2区 三浦 有矢(南相馬市立石神中学校教諭)
- 3区 大内 龍太郎(飯館村社会福祉協議会)
- 4区 細杉 睦輝(ハイン)
- 5区 荒 高史(いいたて希望の里学園教諭)
- 6区 星 敬(飯館村役場)
- 7区 高橋 拓真(いいたて希望の里学園8年)
- 補欠 佐藤 賢二(JAふくしま未来)
- 補欠 佐藤 彰洋(消防飯館分署)
- 補欠 大内 匡泰(菊池製作所)
- 補欠 栗原 加奈絵(アステック)
- 補欠 鈴木 慶(いいたて希望の里学園8年)



前半のゴール開成山公園にて。選手の皆さん。

11月17日、ふくしま駅伝(第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)が「しらかわカタールスポーツパーク(白河市総合運動公園)陸上競技場」をスタート、福島県庁前をゴールに開催されました。

飯館村チームは、今年から認められた前半のみのオープン参加で出場。全区間での出場とはなりませんでしたが、第1回大会から36回連続の出場を果たし、想いのこもった熱い走りです。

解団式でのコメントを紹介します。

- 1区・遠藤志織選手「飯館村の駅伝チームの歴史を失くしたくないという想いがありました。職場の協力や関係者の応援、何より家族の応援に背中を押してもらい、走り切ることができました」。
- 2区・三浦有矢選手「今年で5回目の参加。職場を異動してもまた飯館村チームで参加できてうれしい。来年もぜひ参加したい」。
- 3区・大内龍太郎選手「距離が短い区間で、最大限の力を発揮しようと思いました。飯館村チームが大好きなので、来年もできれば選手として走りたいです」。
- 4区・細杉睦輝選手「今年で10回目の参加。村の人や中学生と交流ができる、とてもよい機会に恵まれていると感じています。(繰り上げを回避し)タスキをつなぐことができてうれしかったです」。
- 5区・荒高史選手「飯館村に赴任して2年目。今回のタイムは自己ベストでした。もともと早く走りたいという情熱が湧いてきました。来年以降もぜひ走りたい」。
- 6区・星敬選手「沿道からの声

援に背中を押され、走り切ることができました。昨年生まれた娘ともいつか一緒に走ってみたい」。

■7区・高橋拓真選手「初めての参加で、自分にできるだろうかという気持ちもありましたが、皆さんに支えられ、走ることができました。来年に向けてレベルをアップしていきたい」。

サポーターとして選手を支えた補欠選手の皆さんは、チームの一員として選手を労い、「来年は自分も選手として走ってみたい」「選手の前向きな言葉を聞いて、伸びしろのあるチームだと感じました。来年も参加してチームに貢献したい」「タスキは形だけのものではなく、心と心でつなぐものだと感じました」と、チームへの想いや今後への抱負を語りました。

また、佐藤彰洋監督は、「二人ひとりがベストを尽くした」と選手を讃え、「全ての関係者、応援してくださった皆様に感謝します」と語りました。

飯館村チームとしての感動の力走、ありがとうございます！



1区 遠藤志織 選手



4区 細杉睦輝 主将
むつき



3区 大内龍太郎 選手



2区 三浦有矢 選手



7区 高橋拓真 選手



6区 星 敬 選手



5区 荒 高史 選手



飯館村のタスキを未来につなぐ7区間の快走！

特集2 ふくしま駅伝